

H B V再活性化ガイドラインに対する当院での運用方法

1 B型肝炎の再活性化について

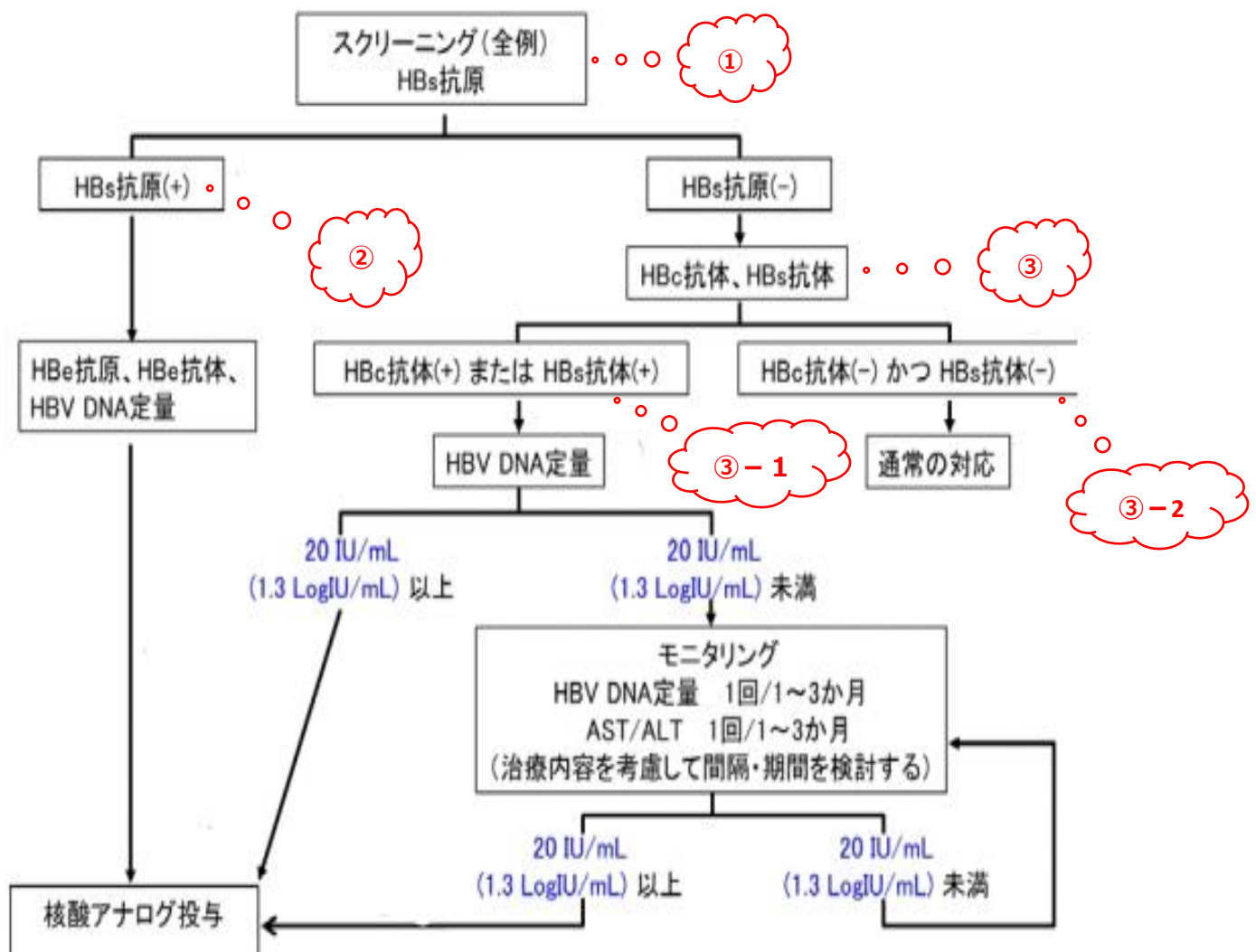
H B V感染患者において免疫抑制剤・化学療法によりH B Vが再増殖することをH B Vの再活性化と称する。H B Vの再活性化はキャリア（H B s抗原陽性）の再活性化と、既往感染者（H B s抗原陰性かつH B c抗体またはH B s抗体陽性）の再活性化に分類される。再活性化による肝炎は重症化しやすく、原疾患の治療の妨げにもなるので発症そのものを阻止することが重要である。

2 スクリーニングについて

- ①免疫抑制剤・化学療法開始時にH B s抗原検査を実施する。
- ②H B s抗原陽性の場合、消化器内科にコンサルトし、核酸アナログ（エンテカビルまたはテノビルまたはテノビルジシプロンシルマル酸塩）の投与が推奨される。ただし、核酸アナログ投与中でもウイルス量が多いと再活性化されるリスクが高いため、H B VのDNA定量検査で20IU/ML（1.3LOGIU/ML）未満にしておくことが望ましい。
- ③H B s抗原陰性の場合、H B c抗体・H B s抗体を測定し、既往感染者であるかどうか確認しておく。
- ③-1 : H B c抗体・H B s抗体のどちらかが陽性、または両方陽性の場合、既往感染者となるのでリアルタイムPCR法によりH B VのDNA定量検査を実施する。20IU/ML（1.3LOGIU/ML）未満であれば、モニタリングにて月1回のDNAの定量検査や肝機能検査を実施する。20IU/ML（1.3LOGIU/ML）以上であれば、消化器内科にコンサルトし、核酸アナログの投与が推奨される。

③-2 : H B c抗体・H B s抗体が両方陰性の場合、通常通りの対応へ。ただし、すでに前治療がある場合や免疫抑制剤が投与されている場合は抗体価が低下している可能性があるためDNA量の定量検査の実施が望まれる。

④核酸アナログ（エンテカビルまたはテノホビルまたはテノホビルジソプロピルエチルサルファート）の投与期間についてはキャリアについてはB型慢性肝炎における投与終了基準を満たせば終了（通常のB型肝炎治療）。既往感染者については免疫抑制剤・化学療法終了後、少なくとも12カ月は投与を継続する（この期間中にALT正常化・HBV DNAが持続陰性化していること）。また、投与終了後12カ月は肝機能・DNA定量を含め注意して経過観察する（検査間隔・検査項目は消化器内科コンサルト）。



添付文書上 B 型肝炎ウイルス再活性化について注意喚起のある薬剤

(2017年5月現在)

薬効分類	一般名	商品名
免疫抑制薬	アザチオプリン	アザニン錠 50mg
		イムラン錠 50mg
	エベロリムス	サーティカン錠 0.25mg、0.5mg、0.75mg
	シクロスポリン	サンディミュン点滴静注用 250mg
		ネオーラル内用液 10%
		ネオーラルカプセル 10mg、25mg
	タクロリムス水和物	グラセプターカプセル 0.5mg、1mg、5mg
		プログラフカプセル 0.5mg、1mg、5mg
		プログラフ顆粒 0.2mg、1mg
		プログラフ注射液 2mg、5mg
	ミコフェノール酸モフェチル	セルセプトカプセル 250
	ミゾリピン	ブレディニン錠 25、50
	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	サイモグロブリン点滴静注用 25mg
	グスベリムス塩酸塩	スパニジン点滴静注用 100mg
バシリキシマブ（遺伝子組換え）	シムレクト静注用 20mg	
	シムレクト小児用静注用 10mg	
副腎皮質 ステロイド薬	コルチゾン酢酸エステル	コートン錠 25mg
	デキサメタゾン	デカドロン錠 0.5mg
		レナデックス錠 4mg
		デカドロンエリキシル 0.01%
	デキサメタゾンバルミチン酸エステル	リメタゾン静注 2.5mg
	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	デカドロン注射液 1.65mg、6.6mg
		デキサート注射液 1.65mg
	トリアムシノロン	レダコート錠 4mg
	トリアムシノロンアセトニド	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL
		ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL
	フルドロコルチゾン酢酸エステル	フロリネフ錠 0.1mg
	プレドニゾン	プレドニゾン錠 1mg、5mg
		プレドニゾン散 0.1%
プレドニゾンリン酸エステルナトリウム	プレドネマ注腸 20mg	

	ブレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	水溶性ブレドニン 10mg、20mg
	ベタメタゾン	リンデロン錠 0.5mg
		リンデロン散 0.1%
		リンデロンシロップ 0.01%
	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	リンデロン注 2mg (0.4%)、4mg (0.4%)
		ステロネマ注腸 1.5mg、3mg
	ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	セレスタミン配合錠
		セレスタミン配合シロップ
	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	リンデロン懸濁注
	ヒドロコルチゾン	コートリル錠 10mg
	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	ソル・コーテフ注射用 100mg
	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム	水溶性ハイドロコトロン注射液 100mg
	メチルブレドニゾン	メドロール錠 2mg、4mg
	メチルブレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	ソル・メドロール静注用 125mg、500mg
	メチルブレドニゾン酢酸エステル	デボ・メドロール水懸注 20mg、40mg
抗腫瘍薬	エペロリムス	アフィニートール錠 5mg
	オファツムマブ (遺伝子組換え)	アーゼラ点滴静注液 100mg、1000mg
	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム	ティーエスワン配合カプセル T20、T25
		ティーエスワン配合顆粒 T20、T25
	テムシロリムス	トーリセル点滴静注液 25mg
	テモノロミド	テモダールカプセル 20mg、100mg
		テモダール点滴静注用 100mg
	フルダラビンリン酸エステル	フルダラ錠 10mg
		フルダラ静注用 50mg
	ベンダムスチン塩酸塩	トレアキシ点点滴静注用 100mg
	ボルテゾミブ	ベルケイド注射用 3mg
	メトレキサート	メソトレキサート錠 2.5mg
		メソトレキサート点滴静注液 200mg
		注射用メソトレキサート 5mg、50mg
	モガムリズマブ (遺伝子組換え)	ポテリジオ点滴静注 20mg
	リツキシマブ (遺伝子組換え)	リツキサン注 10mg/mL (100mg/10mL)
シロリムス	ラバリムス錠 1mg	

	アレムツズマブ	マブキャンバス点滴静注 30mg
	ルキシロチニブリン酸塩	ジャカビ錠 5mg
	イブルチニブ	イムブルピカカプセル 140mg
	パノビノスタット乳酸塩	ファリーダックカプセル 10mg、 15mg
	イマチニブメシル酸塩	グリベック錠 100mg
	ニロチニブ塩酸塩水和物	タシグナカプセル 150mg、 200mg
	ダサチニブ水和物	スプリセル錠 20mg、 50mg
	ボスチニブ水和物	ボシュリフ錠 100mg
	ボナチニブ塩酸塩	アイクルシグ錠 15mg
	フォロデシン塩酸塩	ムンデシンカプセル 100mg
	レナリドミド水和物	レブラミドカプセル 2.5mg、 5mg
抗リウマチ薬	アダリムマブ (遺伝子組換え)	ヒュミラ皮下注 20mg シリンジ 0.4mL、 40mg シリンジ 0.8mL
	アバタセプト(遺伝子組換え)	オレンシア点滴静注用 250mg
	レフルノミド	アラバ錠 10mg、 20mg、 100mg
	インフリキシマブ (遺伝子組換え)	レミケード点滴静注用 100
	エタネルセプト (遺伝子組換え)	エンブレレル皮下注用 10mg、 25mg
	ゴリムマブ (遺伝子組換え)	シンボニー皮下注 50mg シリンジ
	セルトリズマブベゴル (遺伝子組換え)	シムジア皮下注 200mg シリンジ
	トファシチニブクエン酸塩	ゼルヤンツ錠 5mg
	トリシズマブ (遺伝子組換え)	アクテムラ点滴静注用 80mg、 200mg、 400mg アクテムラ皮下注 162mg シリンジ
	メトトレキサート	リウマトレックスカプセル 2mg
抗ウイルス剤	テラプレビル	テラビック錠 250mg
	シメプレビルナトリウム	ソブリアードカプセル 100mg
	ダクラタスビル塩酸塩	ダクルインザ錠 60mg
	アスナプレビル	スンベブラカプセル 100mg
	ソホスブビル	ソバルディ錠 400mg
	レジバスビル/ソホスブビル	ハーボニー配合錠
	オムビタスビル水和物・バリタプレビル水和物・リトナビル	ヴィキラックス配合錠
	エルバスビル	エレルサ錠 50mg
	グラソプレビル水和物	グラジナ錠 50mg
	ダクラタスビル塩酸塩・アスナプレビル・ベクラブビル塩酸塩	ジメンシー配合錠